

vol.54-10 (通算 619号)

2025年1月号

やどかり

2025年1月15日発行
(毎月1回15日発行)1987年12月19日第三種郵便物認可
発行人 公益社団法人やどかりの里
代表者 増田 一世

〒337-0043 さいたま市見沼区中川562

TEL 048-686-0494

FAX 048-747-7030

URL <https://www.yadokarinosato.org/>

定価 50円 (含会費)

徹底的に声を聴き そして話し合う

創立55周年の節目を迎え 障害者権利条約を指標に

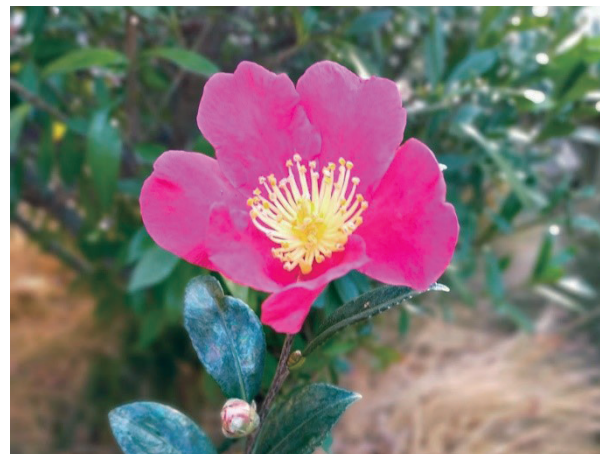
増田 一世

(やどかりの里 理事長)

厳しい寒さの中でも次々とその花を咲かせ続けている山茶花に心励まされる季節です。

さて、2025年にやどかりの里は創立55周年を迎えます。50周年を迎えた時はCOVID-19の感染拡大のためオンライン開催でした。今年迎える55周年のお祝い会は、11月21日(金)に大宮サンパレスで開催予定です。山崎勇理事が実行委員長を務め準備が始まっています。

やどかりの里は今転換期にあると考えています。背景には障害者福祉を取り巻く環境が大きく変わってきていること、それだけでなく、精神医療・保健福祉改革の必要性が高まっていることです。入院中心に設計されている精神科医療のあり方を大きく見直し、地域で生活しながら治療や支援を受ける当たり前を実現しなくてはなりません。日本では地域での支援の仕組みが脆弱で、地域の中で家族だけが唯一の支え手という世帯があります。この状況を変えるためにやどかりの里の経験が活かせるのではないのでしょうか。まずはやどかりの里のメンバー、家族の話を聴く「状態調査」(アンケート調査とは違って話し手の話したいことを聴く調査)を実施します。2024年に実施した職員の状態調査も合わせ、3つの調査を踏まえやどかりの里の課題や展望を導き出します。調査結果を共有し、参加型の話し合いの場を設けたいと思います。直



近では2月8日の総括会議にぜひご参加ください。

また、1月25日(土)のやどかり研究所主催のやどかり研究所報告・交流集会もこれからの精神医療・保健福祉を考える機会です。精神医療・保健福祉の現状や課題をそれぞれの立場から出し合い、海外の実践から学び、精神医療保健福祉のこれからを展望します。この機会に多くの会員の方にご参加いただきたいところです。展望を描く際の指標は、障害者権利条約であり、2022年に国連障害者権利委員会から出された総括所見であり、日本国憲法です。話し合いを重ね、やどかりの里、そして日本の精神科医療保健福祉の展望とともに描く、そんな1年にしたいと思っています。